



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

- (1) 大学の時間割は、
- ア 学部・学科ごとに決まっている。
 - イ 複数のパターンから選べる。
 - ウ **自分で決められる。**(⇒6ページ「時間割は自分で作る！」参照)
- (2) 大学の授業は、
- ア ホームルームで受ける。
 - イ **授業ごとに教室を移動する。**(⇒7ページ「ホームルームがない！」参照)
 - ウ 学部ごとに教室が決まっている。
- (3) 大学からの連絡事項は、
- ア 担任の先生が伝えてくれる。
 - イ **掲示板やインターネットで確認する。**(⇒7ページ「必要な情報は掲示板で」参照)
 - ウ 事務の人が教えてくれる。

問2 正しいものに○, 誤っているものに×を入れましょう。

- (4) 授業は他学部や他学年の人と一緒にすることもある。(⇒6ページ「時間割は自分で作る！」参照)
- (5) 1週間に1つの授業が2～4回ずつある。(⇒6ページ欄外参照)
- (6) 時間割はまったく自由に決められる。(⇒6ページ「時間割はどうやって作るの？」参照)
- (7) 授業では座席が決まっている。(⇒7ページ「ホームルームがない！」参照)
- (8) 選択すべき授業は先生が教えてくれる。(⇒7ページ「『自由』だけど『責任』も生まれる」参照)
- (9) 先生が都合で休んだ場合は、代わりの先生が来る。(⇒7ページ欄外参照)
- (10) 授業の登録や証明書の申請は自分で先生にお願いする。(⇒7ページ「事務手続きは専用の窓口へ」参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

(1) 一般的に大学の1つの授業時間は、

- ア 50分である。
- イ 90分である。(⇒ 10 ページ「授業時間が長い！」参照)
- ウ 120分である。

(2) 大学の授業は、

- ア 講義、ゼミ、実習・実験の3つの形式に分けられる。(⇒ 10 ページ「授業形式もいろいろ」参照)
- イ すべてマイクを使って行われる。
- ウ 学生の発表を中心に進められる。

(3) 講義のノートをとるときは、

- ア 先生が黒板に書いた通り写せばよい。
- イ 先生が板書しなければ何も書き留める必要はない。
- ウ 先生が話す内容を理解し、ポイントを書き留める。(⇒ 11 ページ「ノートのとり方が違う！」参照)

問2 正しいものに○、誤っているものに×を入れましょう。

- (4) × 講義は、高校までの授業とほとんど同じである。(⇒ 10, 11 ページ「講義ってどんなもの？」参照)
- (5) × 講義形式の授業は、3, 4年次の専門科目に多い。(⇒ 10 ページ「授業の形式もいろいろ」参照)
- (6) × 講義は、少人数で行われる参加型の授業である。(ゼミの説明 ⇒ 11 ページ「ゼミってどんな授業？」参照)
- (7) × 大学には、黒板を使わない先生もいる。(⇒ 11 ページ「ノートのとり方が違う！」参照)
- (8) × ゼミでは、レポート課題がよく課される。(⇒ 10 ページ「授業の形式もいろいろ」参照)
- (9) × ゼミは、何百人もの学生が受講することもある。(講義の説明 ⇒ 10 ページ欄外参照)
- (10) × ゼミでは、先生は進行役や助言役をする。(⇒ 11 ページ「ゼミってどんな授業？」参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

- (1) 大学では、
- ア 専門分野だけを深く学べばよい。
 - イ **関心を広げるために、さまざまな授業が用意されている。**(⇒ 14 ページ「まずは教養を身につける」参照)
 - ウ 専門を深めるよりは、教養を身につけるべき。
- (2) 大学の授業は、
- ア 文部科学省によって学習内容が決められている。
 - イ **先生が独自に授業内容を考える。**(⇒ 15 ページ「教科書がない授業もあるの!？」参照)
 - ウ 教科書に沿って進められる。
- (3) 大学では、教科書は、
- ア 最初の授業で配られる。
 - イ みんなで所定の場所に行く。
 - ウ **必要なものを自分で買いに行く。**(⇒ 15 ページ「大学の教科書ってどんなもの？」参照)

問2 正しいものに○、誤っているものに×を入れましょう。

- (4) ○ × 大学の授業は、一般教養科目と外国語科目に分けられる。(⇒ 14 ページ「授業の科目は2種類に分けられる」参照)
- (5) ○ × 大学では、学部ごとの専門的な内容だけを学ぶ。(⇒ 14 ページ「まずは教養を身につける」参照)
- (6) ○ × 大学では、英語以外の外国語も学ぶことができる。(⇒ 14 ページ欄外参照)
- (7) ○ × 1, 2 年次は、専門の授業が中心となる。(⇒ 14 ページ「まずは教養を身につける」参照)
- (8) ○ × 大学の教科書は、その授業用に作られたものである。(⇒ 15 ページ「大学の教科書ってどんなもの？」参照)
- (9) ○ × 大学の教科書は、ふつうの書店では買えない。(⇒ 15 ページ「大学の教科書ってどんなもの？」参照)
- (10) ○ × 教科書がない授業もある。(⇒ 15 ページ「教科書がない授業もあるの!？」参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

(1) 大学での勉強は、

- ア 教わったことを覚えることが中心になる。
- イ 明らかな答えが出せないような問題も扱う。(⇒ 18 ページ「『覚える』勉強から『考える』勉強へ」参照)
- ウ 教科書の内容を習得すればよい。

(2) 学問に関する文章は、

- ア 疑いようのない真実のみが書かれている。
- イ 筆者の主張が妥当か、検証しながら読む必要がある。(⇒ 18 ページ「本が正しいとは限らない!」参照)
- ウ 常に肯定的に読まなければならない。

(3) 大学生は、

- ア 客体的に学ぶことが求められる。
- イ 受け身であることが求められる。
- ウ 自分で問題を設定し、解決する姿勢が求められる。(⇒ 18, 19 ページ「大学生に求められる学びの姿勢」参照)

問2 正しいものに○, 誤っているものに×を入れましょう。

- (4) ○ × 大学での勉強は、主体性が求められる。(⇒ 18, 19 ページ「大学生に求められる学びの姿勢」参照)
- (5) ○ × クリティカル・リーディングとは、音読のことである。(⇒ 18 ページ欄外参照)
- (6) ○ × 大学生は「学生」、高校生は「校生」と呼ばれる。(⇒ 18, 19 ページ「大学生に求められる学びの姿勢」参照)
- (7) ○ × 大学図書館は、学生に娯楽を提供するためにある。(⇒ 19 ページ「図書館が大活躍!」参照)
- (8) ○ × 大学図書館は、学術書や専門書が充実している。(⇒ 19 ページ「図書館が大活躍!」参照)
- (9) ○ × 大学図書館では、貸し出しは行っていない。(⇒ 19 ページ「図書館が大活躍!」参照)
- (10) ○ × オリエンテーションでは大学の仕組みを教えてもらえる。(⇒ 19 ページ「学び方もちゃんと教えてもらえるの?」参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

(1) 大学の試験では、

- ア 特に決まった試験期間はない。
- イ レポート試験しか行われない。
- ウ 授業によってはノートや教科書の持ち込みが認められる。(⇒ 22 ページ「ノートや教科書を持ち込んでもいい!？」参照)

(2) レポートでは、

- ア 感じたままを生き生きと表現することが求められる。
- イ 主観的に書くことが求められる。
- ウ 主張と、それを支える根拠を述べるのが求められる。(⇒ 23 ページ「感想文とは違うの？」参照)

(3) 大学の成績は、

- ア 学期末試験の結果以外は評価の対象にならない。
- イ 授業によって評価基準が違う。(⇒ 23 ページ「成績評価の仕方いろいろ」参照)
- ウ 可 (C) になると、単位を取得できない。

問2 正しいものに○、誤っているものに×を入れましょう。

- (4) ○ × 大学の筆記試験では主に、どう考察するのが問われる。(⇒ 22 ページ「筆記試験も高校までとは違う!」参照)
- (5) ○ × 大学の筆記試験では、授業で学んだことは必要ない。(⇒ 22 ページ「筆記試験も高校までとは違う!」参照)
- (6) ○ × 大学の筆記試験では、問題が1題だけの場合もある。(⇒ 22 ページ欄外参照)
- (7) ○ × 試験期間以外でも、レポートが課されることがある。(⇒ 23 ページ「レポート試験ってどんな試験?」参照)
- (8) ○ × レポートには、決まった形式がある。(⇒ 23 ページ「感想文とは違うの?」参照)
- (9) ○ × ふだんの授業で、小テストを行う授業もある。(⇒ 23 ページ「成績評価の仕方いろいろ」参照)
- (10) ○ × 大学では、出席が評価されることはない。(⇒ 23 ページ「成績評価の仕方いろいろ」参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

- (1) 大学の先生は、
- ア みんな教授か准教授である。
 - イ 大学教諭免許をもっている。
 - ウ それぞれ専門分野をもっている。(⇒ 26 ページ「大学の先生はみんな大学教授？」参照)
- (2) 専門分野について学ぶと、
- ア 誰でも大学の先生になれる。
 - イ 自ら学ぶ姿勢が身につく。(⇒ 26 ページ「専門を学ぶことで身につくこと」参照)
 - ウ 専門知識だけが得られる。
- (3) 先生を訪ねるときは、
- ア 職員室を訪ねる。
 - イ オフィスアワー以外の時間に訪ねなければならない。
 - ウ オフィスアワー以外であればアポイントメントをとる。(⇒ 27 ページ「いつでも研究室を訪ねていいの？」参照)

問2 正しいものに○，誤っているものに×を入れましょう。

- (4) ○ × 大学の先生には、さまざまな肩書きがある。(⇒ 26 ページ「大学の先生はみんな大学教授？」参照)
- (5) ○ × 教授には、必ず「○○教授」と呼びかける。(⇒ 27 ページ「なんて呼びかけたらいいの？」参照)
- (6) ○ × 大学生は、専門家である先生のもとで学ぶ。(⇒ 26 ページ「大学の先生は専門家」参照)
- (7) ○ × 大学の先生は、授業時間以外はみんな職員室にいる。(⇒ 27 ページ「先生はふだんどこにいるの？」参照)
- (8) ○ × オフィスアワーは先生が仕事をするための時間である。(⇒ 27 ページ「いつでも研究室を訪ねていいの？」参照)
- (9) ○ × 研究室は先生の私室なので、ふつう学生は訪ねない。(⇒ 27 ページ「先生はふだんどこにいるの？」参照)
- (10) ○ × アポイントメントは、先生からの呼び出しのことである。(⇒ 27 ページ欄外参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

- (1) クラブ・サークルは、
- ア 一種目一団体が基本である。
 - イ 学生が主体となって運営している。** (⇒ 30 ページ「クラブ・サークル活動が活発！」参照)
 - ウ 他大学のクラブ・サークルには参加できない。
- (2) 在学中に海外留学をするには、
- ア いったん大学を退学しなければならない。
 - イ 休学をしなければならないので、必ず留年になる。**
 - ウ 長期休暇を利用した短期留学もある。** (⇒ 31 ページ「留学制度も充実！」参照)
- (3) 学生食堂は、
- ア 値段が安い。** (⇒ 31 ページ「学生食堂は社交の場」参照)
 - イ 給食を食べるところである。**
 - ウ 大学の先生は利用できない。**

問2 正しいものに○，誤っているものに×を入れましょう。

- (4) ○ × クラブはスポーツ系，サークルは文化系の集まりである。(⇒ 30 ページ「クラブ・サークル活動が活発！」参照)
- (5) ○ × 大学の春休みはふつう，ふた月ぐらいある。(⇒ 30 ページ「春休み・夏休みが長い！」参照)
- (6) ○ × 大学は春休みが長いので，夏休みは短い。(⇒ 30 ページ「春休み・夏休みが長い！」参照)
- (7) ○ × 留学先で得た単位は，所属大学の単位にはならない。(⇒ 31 ページ「留学制度も充実！」参照)
- (8) ○ × 大学は，他学年との交流がほとんどない。(⇒ 31 ページ「先輩が頼りになる！」参照)
- (9) ○ × 学生食堂は，ランチタイムのみの営業である。(⇒ 31 ページ「学生食堂は社交の場」参照)
- (10) ○ × 学生食堂のほかに，カフェがある大学もある。(⇒ 31 ページ「学生食堂は社交の場」参照)



問1 適切な選択肢を選んで、正しい文章にしましょう。

- (1) 大学院は、
- ア 大学での勉強をさらに深めるための課程である。(⇒ 34 ページ「大学より上の学校はあるの？」参照)
 - イ 希望すれば誰でも簡単に進学できる。
 - ウ 卒業大学の大学院にしか行けない。
- (2) 一般企業への就職活動は、
- ア 1年生から行う。
 - イ 3年生の秋ごろから行う。(⇒ 34 ページ「就職活動っていつごろからするの？」参照)
 - ウ 卒業が決まってから始める。
- (3) インターンシップでは、
- ア キャリア教育が行われる。
 - イ 業種や職種の具体的な仕事内容が把握できる。(⇒ 34 ページ「インターンシップって何？」参照)
 - ウ もっていると役立つ資格が取れる。

問2 正しいものに○，誤っているものに×を入れましょう。

- (4) ○ × 大学院には、修士課程4年と博士課程4年がある。(⇒ 34 ページ「大学より上の学校はあるの？」参照)
- (5) ○ × 一般企業の就職活動では、インターネットが活用される。(⇒ 34 ページ「就職活動っていつごろからするの？」参照)
- (6) ○ × 企業の採用試験では、筆記試験や面接試験が課される。(⇒ 34 ページ「就職活動っていつごろからするの？」参照)
- (7) ○ × 就職活動では、大学がサポートしてくれることはない。(⇒ 34 ページ「就職活動っていつごろからするの？」参照)
- (8) ○ × 1年生からキャリア教育を行う大学が増えている。(⇒ 35 ページ「将来を見据えて大学生活を考える」参照)
- (9) ○ × 大学で授業を受けないと、取得できない資格がある。(⇒ 35 ページ「大学で資格が取れる！」参照)
- (10) ○ × 在学中は、所属学部に関連した資格しか取得できない。(⇒ 35 ページ「将来に役立つ勉強」参照)